

壁を傷付けない汎用架台案

壁掛け型の機械式振り子時計を設置する場合に、壁に取り付けフックを取り付けるなど、壁を傷付けることが無い、各デザインに使用可能な汎用架台の例を示します。

左タイプ A、

右タイプ B



架台に取り付けた例



上記の架台は、床と天井の間でスプリングの力で突っ張る形で固定しますので、既存の壁や床、天井にねじを打つなどの必要がなく、傷を付けません。

タイプ A の上下端の白い部材はプラスチック製の既製品（若井産業㈱のディアウォール）で、木材は断面が 38mm x 89mm、長さは天井高さにより自分でカットする 2 x 4 の木材です。材料費約 2,000 円（着色、ニスなどの塗料は別）です。

タイプ B はすべて手作りで、天井側の部材にスプリングを 2 個仕込んでいます。横桟は取り付け時計のデザインにより数、大きさなどを変えます。ポイントは上端 2 箇所にもスプリングを仕込むことです。スプリングは外径 15mm、線形 1.4mm、巻き数 4 から 5 で、自由長さ 25 から 30mm 程度（DIY ショップで約 500 円）のものを、左右各 2kgf 程度の力が掛かるように仕込みます。床と天井との接触面は滑り止め用にゴムシートを貼るとベストです。トータル材料費約 3,500 円（塗料は別）。製作は日曜大工程度の技術で充分です。